



ピース・ウイング長崎  
情報 BOX

(No. 263 2022年7月発行)

公益財団法人 長崎平和推進協会  
〒852-8117 長崎市平野町 7-8  
TEL : 095-844-9922  
<https://www.peace-wing-n.or.jp>

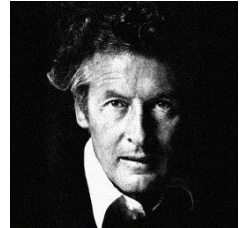


音楽と、朗読と、言葉で紡ぐ

## ピーター・タウンゼントの平和への想い。

郵便配達中に被爆し、背中に大火傷を負った谷口稜曄氏（2017年逝去）の被爆体験を基に、元イギリス空軍大佐でジャーナリストだったピーター・タウンゼント氏（故人）が書いた「ナガサキの郵便配達」。

今回、作家としてのタウンゼント氏の功績を讃えるため、「ナガサキの郵便配達」を題材に作曲したギタリスト・佐藤洋平氏によるクラシックギター演奏と、映画「もののけ姫」アシタカ役などを務めた声優・松田洋治氏による朗読の他、ピーター・タウンゼント氏の長女、イザベル・タウンゼント氏を招いてのイベントを行います。



**日時** 8月13日（土）13:30～16:00  
**場所** 長崎原爆資料館ホール  
**内容** 第1部 クラシックギター演奏（佐藤洋平氏）、朗読（松田洋治氏）  
第2部 対談（イザベル・タウンゼント氏 他）

**申込方法** 事前申込が必要です。ハガキまたはメールでお申し込みください

●ハガキの場合

①郵便番号、②住所、③氏名（ふりがな）、④電話番号をご記入の上、  
〒852-8117 長崎市平野町 7-8 （公財）長崎平和推進協会 講演会係 までお送りください

●メールの場合

①氏名（ふりがな）、②電話番号を [mail-magazine@peace-wing-n.or.jp](mailto:mail-magazine@peace-wing-n.or.jp) までお送りください  
※送信から3日以上経っても「受付完了」メールが届かない場合は、事務局までお問い合わせください

- 【注意事項】** ①ハガキ、メール1件につき、申込者1人のお申し込みとなります  
②協会会員に限り、1件につき2人までご応募できます  
「会員」と明記し、希望人数（1人または2人）をご記入ください  
③申込者多数の場合には、会員優先の上、抽選となります

**【応募締切】** 7月25日（月） 当日消印有効

●○● 家族・交流証言者 定期講話のご案内 ●○●

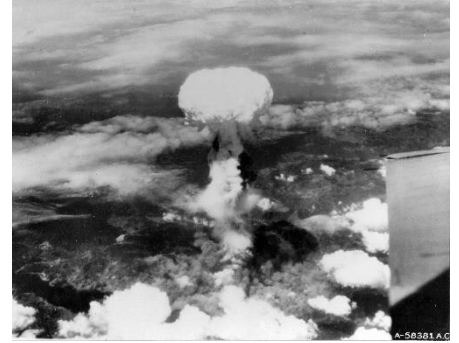
①7月14日（木）14:00～15:00 ②7月24日（日）10:00～11:30

※いずれも原爆資料館ビデオルーム2で実施します。新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況次第では中止します。

# 被爆 77 年 ナガサキ原爆写真展

ロシアによるウクライナ侵攻で、核兵器が使われかねない危機に直面している今だからこそ、77年前に投下された一発の原子爆弾で何が起こったのか、あの日の惨状を振り返ります。

期間 7月25日(月)～8月5日(金) 8:30～18:30  
※ただし25日は13:30から、5日は15:00まで  
会場 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 交流ラウンジ  
主催 (公財)長崎平和推進協会 写真資料調査部会



## 被爆体験を受け継ぎたい方、 ご自分の体験を託したい方を募集します



被爆者の体験や思いを受け継ぎ、次の世代に語り伝えてくださる方、ご自身の被爆体験を託してくださる方を募集しています。

興味はあるけど今まで活動したことがない方、これまで被爆体験を語ったことがない方は、まず「交流会」に参加してみませんか？

### ●交流会のご案内

開催日 9月17日(土)、18日(日) 14時00分～16時30分  
※受け継ぎたい方は両日・または1日、託したい方はどちらか1日にご参加ください  
場所 長崎原爆資料館 平和学習室  
申込方法 募集チラシ裏面の「交流会参加申込書」に必要事項をご記入の上、郵便・FAX (095-844-9961)・メール (kataritsugu@peace-wing-n.or.jp) のいずれかでお送りください  
募集締切 9月2日(金)  
備考 18日(日)午前中に、希望者を対象に資料館見学を行います  
チラシは協会ウェブサイトからダウンロードできます



ダウンロードは  
こちら

### ◆◆◆ 協力・後援事業 イベント予定 ◆◆◆

事業名	開催期間	会場	主催団体	区分
ナガサキ・土崎 被爆証言講話会	7月15～28日	土崎みなと 歴史伝承館	秋田市	協力
第69回 長崎原爆忌 平和祈念俳句大会	7月23日	原爆資料館	第69回長崎原爆忌 平和祈念大会実行委員会	後援
ナガサキ映画と朗読 プロジェクト	7月23～24日	原爆資料館	長崎映画と朗読 プロジェクト実行委員会	後援